

1. 科目名（単位数）	臨床心理学概論 / 臨床心理学（4 単位）	3. 科目番号	PSMP2114
2. 授業担当教員	石川 美智子		
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	臨床心理学として、その成り立ち、不適応や障害、病、苦悩の発生原因や発生過程、回復の過程を探る科学的側面と、問題を抱える人々に寄り添いながら、適応の調整や人格的成長を促進することで問題の解消や軽減を目指す実践的側面との両面を学ぶ。そのために、心理的援助を必要とする人々の心理を理解するだけでなく、問題を理解するアセスメントの視点から各発達段階に生じやすい心理的問題や障害を理解する。また、問題の解決に向かう代表的な援助の理論や技法について理解を深める。		
8. 学習目標	1. 精神疾患や発達障害を含めて、心理的問題を抱える人々の心理を理解し、説明できる。 2. 各発達段階における心理的課題や障害を理解し、説明できる。 3. 不登校・いじめ・虐待・自死・非行問題といった代表的な心理臨床の問題を理解し、説明できる。 4. 心理アセスメントの考え方と方法について理解し、説明できる。 5. 主要な心理的援助の理論と技法を理解し、説明できる。 6. スクールカウンセリングについて理解をし、説明できる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	○課題 レポート作成 2回 A 4（40字×40行）2枚程度のものを作成し提出する。提出期限は授業中に指示する。 ・関心のある精神療法をとりあげ、概要とそれに対する自分の考えをまとめる。 ・臨床心理学はどのように社会に貢献できるかについて、自分の考えをまとめる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】なし 【参考書】松原達哉編著『図解雑学臨床心理学』ナツメ社 【資料】授業前に配布する。		
11. 成績評価の基準と 評定の方法	○成績評価の基準 1. 精神疾患・発達障害を含めた心理的問題を抱える人の心理の理解 2. 各発達段階における心理的課題と障害の理解 3. 代表的な心理臨床の理解 4. 心理アセスメントの考え方と方法の理解 5. 主要な心理的援助の理論と技法の理解 6. スクールカウンセリングについての理解 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 レポート課題 40％ 授業への参加 30％ 発表 30％ 以上で評価を行う。		
12. 受講生への メッセージ	本講義は心理学部の必修科目であり、また、公認心理師受験に必要な心理学基礎科目の一つである。そのため受講者が将来、心理臨床にかかわるであろうことを前提に、実践に役立つ思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目指している。この目的達成のため、受講者は次の事柄を遵守することを望む。 1. 常に高い緊張感と集中力を保って受講し、自己鍛錬を怠らない。 2. 質問、発表を積極的に行い、主体性の形成に励む。 3. 欠席、遅刻、早退をしないことで自己管理能力をつける。 4. 勝手な退室や、講義に関係のない振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などをせず、常にセルフモニタリングにつとめる。なお、明らかに態度が悪いと判断された場合厳格な指導が行われる。その後も改善されない場合は全出席であってもF評価になることがある。また教員は次のことを実行する。 1. 講義の目的を明確にし、シラバスに沿って講義する。 2. 声の大きさや話し方など、受講者の聞きやすさ、わかりやすさについて配慮する。 3. 討議や演習など受講者が積極的に講義に参加できる環境を作る。 4. 受講者の質問には誠実に対応する。 5. 受講者が上記のメッセージ1～4を守らない場合、厳格に対処する。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション（講義概要の解説）心理学の歴史と意義	事前学習	教科書 pp2～11 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 2～11 をまとめる。
第2回	心理療法と発展	事前学習	教科書 pp. 12～19 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 12～19 をまとめる。
第3回	心理療法の発展の歴史と現在、初学者へ	事前学習	教科書 pp. 20～21 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 20～21 をまとめる。
第4回	演習事例 1	事前学習	教科書 pp. 22～56 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 22～56 をまとめる。

第 5 回	・公認心理師の職責	事前学習	公認心理師について検索する
		事後学習	公認心理師についてまとめる。
第 6 回	心理アセスメント	事前学習	教科書 pp. 62～64 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 62～64 をまとめる。
第 7 回	学校現場の児童生徒アセスメントの領域	事前学習	教科書 pp. 65～75 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 65～75 をまとめる。
第 8 回	アセスメント演習事例	事前学習	教科書 pp. 76～87 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 76～87 をまとめる。
第 9 回	臨床発達心理学 乳幼児期児童青年期	事前学習	教科書 pp. 88～99 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 88～99 をまとめる。
第 10 回	青年期演習事例	事前学習	教科書 pp. 100～112 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 100～112 をまとめる。
第 11 回	発達障がい	事前学習	教科書 pp. 117～121 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 117～121 をまとめる。
第 12 回	発達障がいと支援	事前学習	教科書 pp. 122～127 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 122～127 をまとめる。
第 13 回	うつ病・統合失調症	事前学習	教科書 pp. 128 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 128 をまとめる。
第 14 回	事例検討	事前学習	教科書 pp. 128～147 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 128～147 をまとめる。
第 15 回	虐待	事前学習	教科書 pp. 148 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 148 をまとめる。
第 16 回	ネグレクト加害者の心情	事前学習	教科書 pp. 148～155 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 148～155 をまとめる。
第 17 回	親権を考える	事前学習	教科書 pp. 156～159 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 156～159 をまとめる。
第 18 回	コミュニティ心理学 心理教育	事前学習	教科書 pp. 160 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 160 をまとめる。
第 19 回	心理教育の実践	事前学習	教科書 pp. 161～171 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 161～171 をまとめる。
第 20 回	コミュニティ心理学 コミュニ・アプローチ	事前学習	教科書 pp. 172～176 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 172～176 をまとめる。
第 21 回	学校における自殺企図者の対応	事前学習	教科書 pp. 177～186 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 177～186 をまとめる。
第 22 回	セラピスト・カウンセラーの成長	事前学習	教科書 pp. 187～195 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 187～195 をまとめる。
第 23 回	地域連携資料 医療機関児童相談所	事前学習	教科書 pp. 196～215 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 196～215 をまとめる。
第 24 回	地域連携資料 警察少年部門	事前学習	教科書 pp. 215～226 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 215～226 をまとめる。
第 25 回	レポート課題発表	事前学習	レポート課題をまとめる。
		事後学習	受講者の評価を受け再検討する。
第 26 回	レポート課題発表	事前学習	レポート課題をまとめる。
		事後学習	受講者の評価を受け再検討する。
第 27 回	レポート課題発表	事前学習	レポート課題をまとめる。
		事後学習	受講者の評価を受け再検討する。
第 28 回	レポート課題発表	事前学習	レポート課題をまとめる。
		事後学習	受講者の評価を受け再検討する。
第 29 回	レポート課題発表	事前学習	レポート課題をまとめる。
		事後学習	受講者の評価を受け再検討する。
第 30 回	レポート課題発表	事前学習	レポート課題をまとめる。
		事後学習	受講者の評価を受け再検討する。